

目次

1. 目的.....	3
2. 検証環境.....	3
2.1 構成図.....	3
2.2 サーバの構成情報.....	4
2.3 ソフトウェアの導入順序.....	4
3. 動作検証をした LifeKeeper のリソース	4
4. 検証項目	6
4.1 savscan コマンド	6
4.2 オンアクセス	7
4.3 障害発生時の動作確認	7
5. 検証結果.....	8
6. 免責事項.....	9

□

2012□ 8□ 30□ 第1版

1. 目的

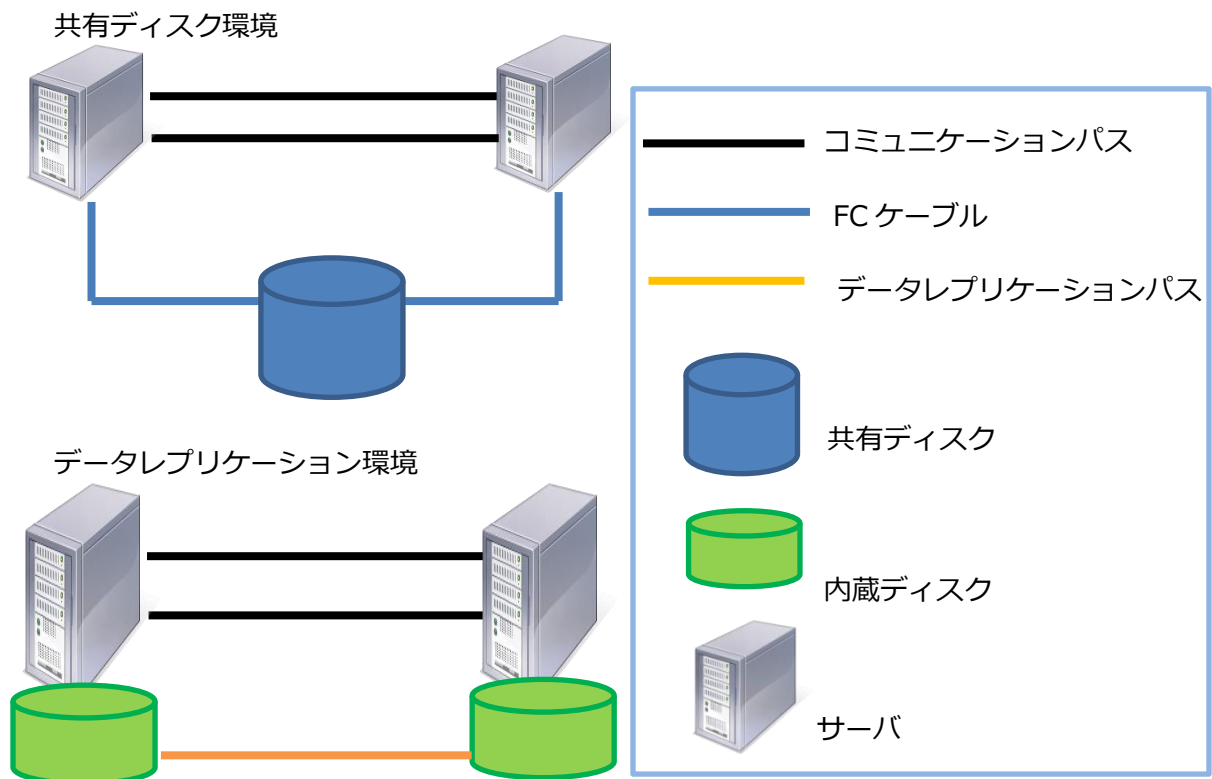
本ドキュメントは、Sophos 社の Sophos Anti-Virus for Linux 7.x と LifeKeeper for Linux v8 が共存する環境で、両方の製品が問題なく動作するかを確認し、結果を記したものです。

2. 検証環境

検証で利用した環境及び、ソフトウェアは以下の通りです。

2.1 構成図

共有ディスク構成及び、データレプリケーション構成を作成し、検証を行いました。



2.2 サーバの構成情報

使用 OS

- Red Hat Enterprise Linux v6.2 64Bit(2.6.32-220.el6.x86_64)

導入ソフトウェア

- Sophos Anti-Virus for Linux 7.x
- LifeKeeper for Linux v8

2.3 ソフトウェアの導入順序

1. Sophos Anti-Virus for Linux 7.x をインストール
2. LifeKeeper for Linux v8 をインストール

3. 動作検証をした LifeKeeper のリソース

以下のリソースの動作検証を行いました。

1. IP リソース
2. File System リソース
3. LVM リソース
4. DataKeeper リソース(SDR リソース)
5. NFS リソース
6. MySQL リソース

実際のリソース階層は以下の通りです。以下の各 Case に対してテストを行いました。

【Case 1】

FileSystem リソース

└**device** リソース

└**disk** リソース

【Case2】

FileSystem リソース

└**LV** リソース

└**VG** リソース

└**device** リソース

└**disk** リソース

【Case3】

FileSystem リソース

└**datareplication** リソース

【Case4】

MySQL リソース

└**FileSystem** リソース

└**device** リソース

└**disk** リソース

【Case5】

NFS リソース

└ **IP リソース**

└ **HANFS リソース**

└ **FileSystem リソース**

└ **device リソース**

└ **disk リソース**

4. 検証項目

「3.動作検証をした LifeKeeper のリソース」で作成したリソースに対して以下の検証を行いました。

4.1 savscan コマンド

savscan コマンドを実行中に以下のテストを実施し、LifeKeeper が正常に動作にするか確認を行いました。

- LifeKeeper の GUI を使用して切り替え動作が行えるか
- perform_action コマンドを使用して、切り替えが行えるか
- LifeKeeper の起動停止が行えるか
- lcdremexec コマンドを使用し、リモートで切り替えが行えるか
- lksupport が正常に取得できるか
- LifeKeeper のログを確認できるか

結果

Sophos Anti-Virus for Linux 7.x 及び、LifeKeeper for Linux v8 の動作に問題はありませんでした。

4.2 オンアクセス

オンアクセスが有効な状態で、以下のテストを実施し、Lifekeeper が正常に動作にするか確認を行いました。

- LifeKeeper の GUI を使用して切り替え動作が行えるか
- perform_action コマンドを使用して、切り替えが行えるか
- LifeKeeper の起動停止が行えるか
- lcdremexec コマンドを使用し、リモートで切り替えが行えるか
- lksupport が正常に取得できるか
- LifeKeeper のログを確認できるか

結果

Sophos Anti-Virus for Linux 7.x 及び、LifeKeeper for Linux v8 の動作に問題はありませんでした。

4.3 障害発生時の動作確認

リソース毎に意図的に障害を発生させた場合に、正常にフェイルオーバーが実行されるかを確認しました。

- **File System リソース**
共有ストレージとサーバを接続している、FC ケーブルを抜線する。
- **DataKeeper リソース(SDR リソース)**
データレプリケーションの同期に使用している経路を抜線する。

- **NFS リソース**

ローカルリカバリを無効にし、NFS サービスを停止する。

- **MySQL リソース**

ローカルリカバリを無効にし、MySQL のプロセスを停止する。

結果

Sophos Anti-Virus for Linux 7.x 及び、LifeKeeper for Linux v8 の動作に問題はありませんでした。

5. 検証結果

Sophos Anti-Virus for Linux 7.x が導入された環境でも、LifeKeeper for Linux v8 は正常に障害検知、切り替え動作をすることを確認しました。
今回は、5 つのリソースのテストを行いましたが、その他の LifeKeeper のリソースの動作も問題ないと考えます。

6. 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証もするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に生じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

【著作権】

本書に記載されているコンテンツ（情報・資料・画像等種類を問わず）に関する知的財産権は、サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、転載、引用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。

本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。

サイオステクノロジー株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズ

電話:03-6860-5105

FAX:03-6860-5133

<http://www.sios.com>